

# 平成23年2月 瀬戸内海の赤潮

水産庁瀬戸内海漁業調整事務所

## 【 概 要 】

- 瀬戸内海では、5件の赤潮が発生した。（前年同月3件）
  - ・ 内訳は、大阪府2件、周防灘1件、豊後水道2件であった。
  - ・ 出現した赤潮構成プランクトンは6属であった。
  - ・ 漁業被害は発生しなかった。（前年同月0件）
- 土佐湾では、1件の赤潮が発生した。（前年同月1件）
  - ・ 出現した赤潮構成プランクトンは1属であった。
  - ・ 漁業被害は1件発生した。（前年同月0件）
- 熊野灘では、赤潮は発生しなかった。（前年同月0件）

この月報は、次の各府県から提供のあった赤潮情報を瀬戸内海漁業調整事務所が取りまとめたものである。

和歌山県、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、  
愛媛県、高知県、福岡県、大分県

(注) 本報告書の数値は速報値であるため、変更されることがある。

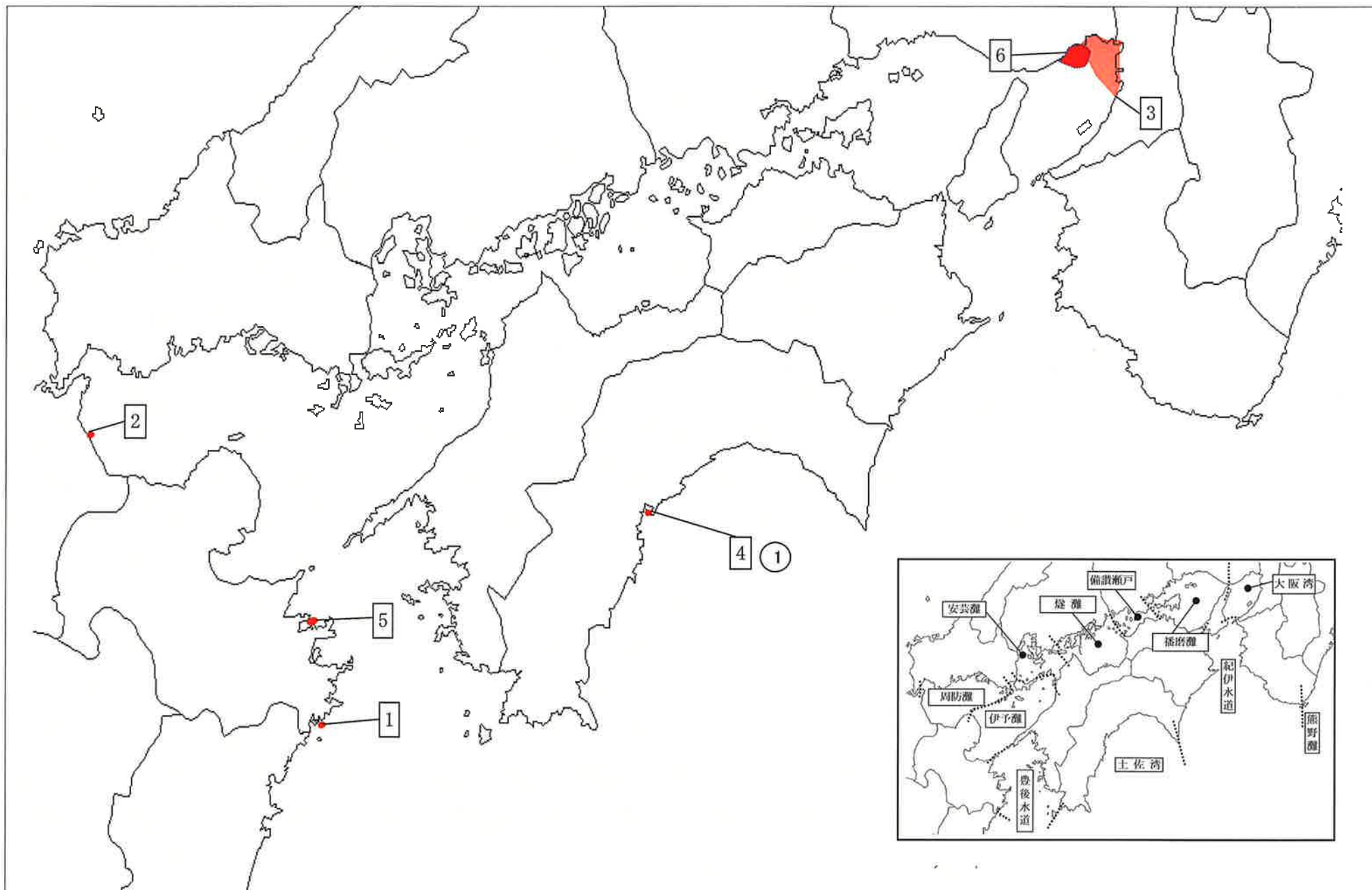
## 赤潮発生状況（平成23年2月）

## 発生6件（漁業被害1件）

番号	発生期間（日間）	灘名	府県名	発生水域	赤潮構成プランクトン	最高細胞数 (Cells/ml)	最大面積 (km <sup>2</sup> )	漁業被害
1	1/24 ~ 2/28 (36)	豊後水道	大分県	猪串湾	<i>Gymnodinium catenatum</i>	5,084	不明	無
2	1/25 ~ 2/11 (18)	周防灘	福岡県	箕島漁港他	<i>Noctiluca scintillans</i>	600	不明	無
3	2/1 (1)	大阪湾	大阪府	西宮市から堺市にかけての沿岸域	<i>Skeletonema</i> spp. <i>Thalassiosira</i> spp. <i>Chaetoceros</i> spp.	9,720	160	無
4	2/7 ~ 2/19 (13)	土佐湾	高知県	野見湾	<i>Cochlodinium polykrikoides</i>	546	不明	有
5	2/21 ~ 2/28 (8)	豊後水道	大分県	津久見湾	<i>Eutreptiella</i> sp.	10,200	不明	無
6	2/21 ~	大阪湾	大阪府	神戸市沿岸域	<i>Skeletonema</i> spp. <i>Thalassiosira</i> spp.	4,370	70	無

赤潮漁業被害一覧 (平成23年2月：1件)

番号	赤潮発生期間	発生海域	漁業被害の期間・水域	被害内容	被害金額 (千円)	赤潮構成プランクトン
1	2/7 ~ 2/19	土佐湾	2/6・野見湾	養殖魚介類 カンパチ (4kg台) 125尾	600	<i>Cochlodinium polykrikoides</i>



※ 数字は赤潮発生状況の発生番号及び漁業被害番号を示す。

赤潮発生件数 (平成23年1月～12月)

単位：件

灘名	月												合計		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	延	実	
瀬戸内海	紀伊水道														
	大阪湾		2										2	2	
	播磨灘														
	備讃瀬戸														
	燧灘														
	安芸灘														
	伊予灘														
	周防灘	1	1											2	1
	豊後水道	2	2											4	3
小計	延	3	5												
	実	3	5										※	6	
土佐湾	1	1 ①											2 ①	2 ①	
熊野灘															
総計	延	4	6 ①												
	実	4	6 ①										※	8 ①	

(注)

- 1) 縦計の「延」は複数の灘に、横計の「延」は複数の月にまたがるものを各々計上し、「実」はそれらを1件として計上した。
- 2) ○数字は漁業被害件数を示す。
- 3) ※：赤潮発生及び漁業被害実件数  
(複数の灘もしくは月にまたがるものを1件として計上し、縦・横の計とは一致しない)

継続日数別赤潮発生件数（平成23年1月～12月）

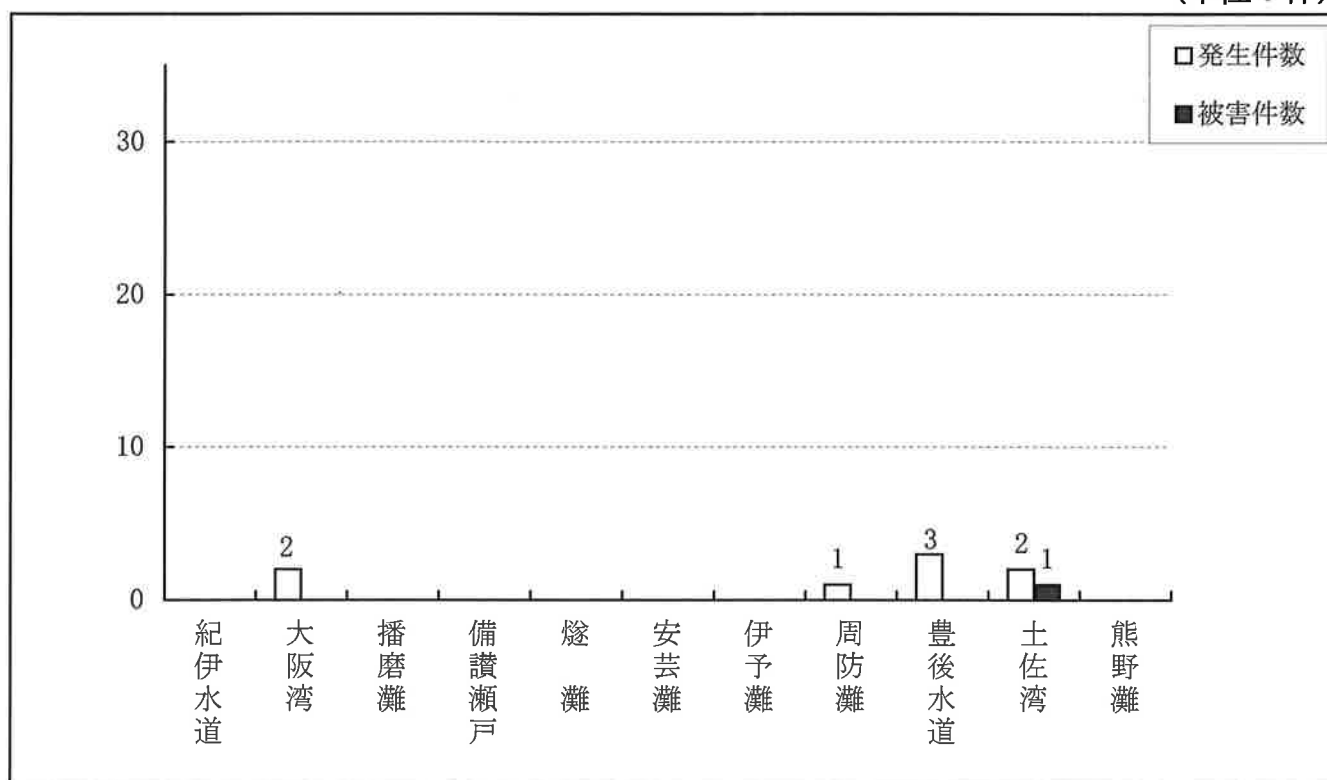
（単位：件）

灘名		日				継続中	計
		～5	6～10	11～30	31～		
瀬戸内海	紀伊水道						0
	大阪湾	1				1	2
	播磨灘						0
	備讃瀬戸						0
	燧灘						0
	安芸灘						0
	伊予灘						0
	周防灘			1			1
	豊後水道		1		2		3
小計	延	1	1	1	2	1	6
	実	1	1	1	2	1	6
土佐湾		1		1			2
熊野灘							
総計	延	2	1	2	2	1	8
	実	2	1	2	2	1	8

（注）「延」は複数の灘にまたがるものを各々計上し、「実」はそれらを1件として計上した。

灘別赤潮発生件数（平成23年1月～12月）

（単位：件）



## 赤潮プランクトンの出現状況 (平成23年2月)

(単位: 件)

灘 プランクトン		瀬戸内海								瀬戸内海計	土佐湾	熊野灘	合計	
		紀伊水道	大阪湾	播磨灘	備讃瀬戸	燧灘	安芸灘	伊予灘	周防灘					豊後水道
渦鞭毛藻	<i>Cochlodinium</i>									0	1		1	
	<i>Gymnodinium</i>									1	1		1	
	<i>Noctiluca</i>								1	1			1	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	3
珪藻	<i>Chaetoceros</i>		1							1			1	
	<i>Skeletonema</i>		2							2			2	
	<i>Thalassiosira</i>		2							2			2	
	小計	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5
ミドリムシ	<i>Eutreptiella</i>									1	1		1	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1
合計		0	5	0	0	0	0	0	1	2	8	1	0	9

## 赤潮プランクトンの種類別出現件数 (月別：平成23年1月～12月)

(単位：件)

プランクトン		月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
渦鞭毛藻	<i>Cochlodinium</i>		1	1 ①											2 ①
	<i>Gymnodinium</i>		1	1											2
	<i>Noctiluca</i>		1	1											2
	小計		3	3 ①											6 ①
珪藻	<i>Chaetoceros</i>			1											1
	<i>Skeletonema</i>			2											2
	<i>Thalassiosira</i>			2											2
	小計			5											5
ラフィド藻	<i>Heterosigma</i>		1												1
	小計		1												1
ミドリムシ	<i>Eutreptiella</i>			1											1
	小計			1											1
合計			4	9 ①											13 ①

(注)

- 1) 出現件数は、プランクトンごとに計上しているため、複数のプランクトンによって構成される赤潮の場合、赤潮発生件数と必ずしも一致しない。
- 2) 赤潮が複数の月にまたがる場合、月ごとに計上している。
- 3) ○数字は漁業被害件数を示す。
- 4) 複数のプランクトンで構成される赤潮で漁業被害が発生した場合は、優勢種に漁業被害件数を示した。

